

小さな一歩



第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部長
松丸 一弥

10月16日は「世界食料デー」。世界の食料問題を考える世界共通の日として、1981年に国連によって制定された。いつでも安心して安全な食料を手に入れ、それを食することは、私たち全人類が当然の権利として保障されなくてはならない基本的人権の最たるものといえる。しかし、国際連合食糧農業機関（FAO）によれば、世界には約8億7千万もの人々が慢性的な栄養失調状態にあるという。これは世界の人口のおよそ8人に1人にあたる。驚くべき数字だ。

こうした食料問題は世界規模による食料不足に起因しているわけではないようだ。専門家によると、毎年地球のあちこちで干ばつ等による作物の生産被害が頻発しているものの、世界のすべての人が食べられるだけの食料が世界規模では十分に生産されているという。それでもたくさんの人が飢餓に苦しんでいるのはなぜか。その要因のひとつに分配の公平性という問題があげられる。発展途上国のように深刻な食料不足に陥っている国や地域がある一方で、食料があり余っている国々があるということだ。

私たちが暮らす日本が後者であることに疑問の余地はない。しかし、その実態はどうか。主要先進国のなかで食料自給率が最低水準（39%）の日本は、輸入によって食料の不足を賄ってきた。この点で他の先進諸国の食料事情とは大きく異なる。ひとたび有事が起これば、日本は一転、食料危機に直面する可能性さえある。ところが、多くの食料を世界中からの輸入に頼るその一方で、私たちは無意識のうちにたくさんの食べものをムダに捨てている。

農林水産省によれば、日本では年間に1,700万トンもの食料を廃棄しており、その量は世界の食料援助量のおよそ3倍に達するというから驚きだ。加えて、食料廃棄量の半分以上（約1,000万トン）は家庭から排出されたものだ。確かに一般家庭では、買い

すぎ、作りすぎ、傷み、賞味期限切れ等々の理由で大切な食べものが残飯として処分されている。消費者庁の発表では、1人当たり約15キログラムの食料を毎年ムダにしている。なんと「もったいない」ことか。こうした「残飯大国ニッポン」で暮らす私たちの姿は、飢餓で苦しむ人々の目にどのように映っているのだろう。

さらに驚愕したのは、大量の食品が消費者の手に触れる前に処分されているという事実だ。今年5月、あるテレビ番組で「3分の1ルール」なるものを知った。生鮮食品のみならず、飲料や缶詰、即席めん、スナック菓子といった保存食品でも賞味期限（おいしく食べられる期限）がくる前に、製造した企業の手によって大量に廃棄されているという。例えば、メーカー（工場）で製造された賞味期限が6か月のジュース。このうちスーパーなどの小売店に出荷できるものは製造から2か月未満（賞味期限の1/3）のものだけ。2か月を過ぎたものは出荷されることなく廃棄されてしまう。さらに小売店では製造から4か月を超えたジュースはメーカーに返品され廃棄される。ここまでくると「もったいない」を通り越し倫理的にも心が痛む。

当然、企業は作ったものは全部売りたい。ではなぜ売らないのか。鮮度に厳しい日本の消費者は、少しでも賞味期限まで余裕のある商品を買おうとする。つまり、このルールは「賞味期限が残り短くなると、消費者が買わなくなる」ことをおそれた加工食品業界のなかで、長年続けられてきた商習慣なのだ。確かに、陳列棚の奥から商品を引っ張り出し、つい新しい日付のものを買い求めてしまう消費者も少なくない。しかし、廃棄が増えればロスを見込んで価格に転嫁される。あるいは廃棄量を抑え、賞味期限を延ばすために余分な保存料が添加されることもあるだろう。結局つければ、多くの消費者に跳ね返ってくる。

こうしたフードロスや食料のムダ問題だけにはとどまらない。食料を生産するために必要な水や土地、運搬・輸送に要した燃料などの資源もムダにしている。さらには、大量に発生したゴミ処理（焼却）など、本来なら不要な温室効果ガスの排出にもつながっている。

このように私たち一人ひとりの意識や行動が、無意識のうちに日本のあちこちでムダを散在、増長させている。飽食時代と呼ばれて久しい。モノや情報が巷に溢れ、人々の物欲は容易に叶うようになった。しかし、その代償に失ったものも大きい。「食することへの有り難みや感謝の気持ちが次第に薄れ、「捨てる」ことへの罪悪感や抵抗が小さくなっている。世界食料デーを間近にひかえ、世界の食料問題について改めて考えさせられる。一人ひとりができることには限りがある。しかし、たとえそれが小さな一歩であろうとも、私たちは食べもののムダを少しでも減らし、「もったいない」という精神を忘れずにもち続けていたい。世界の共通言語「MOTTAINAI」の発祥地、日本。いま私たち日本人こそ、この言葉を必要としているのかも知れない。